

# 「地域懇話会を開催」～令和7年度 地域懇話会報告～

## 町政全般について意見交換を行いました

本年度は、令和7年10月14日から10月31日までの期間に町内の10箇所の会場で、町と町民の皆さんが町政について意見交換を行い、延べ65名の参加がありました。いただいたご意見は、町の活性化に向けた貴重な意見として、可能な限り町政に反映したいと考えています。わかりやすくお伝えするため、地域懇話会の終了後における担当課からの回答もあわせて掲載いたしました。各地区で出された全ての意見について本冊子でお知らせいたします。

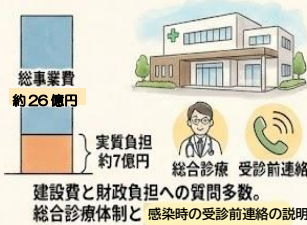
- 【冊子配布場所】 役場まちづくり推進課（2階）、文化センター、スポーツセンター、基幹集落センター
- 【問い合わせ先】 まちづくり推進課まちづくり推進係 ☎0158-29-3614

### 令和7年度 滝上町地域懇話会 主なご意見まとめ

#### 1. スーパーナカガワ閉店後対応



#### 2. 新診療所建設費・体制



#### 3. ヒグマ対策



#### 4. 小中一貫教育・部活動



#### 5. インフラ整備



#### 6. 童話村構想



[cite: 1]

**質** 商工会青年部の集まりでバスを使った視察があった。町民向けのバスツアーを企画し、町の変化を見てもらったり、高齢者に昔の町の様子を語ってもらったりするような企画があるとよいのではないかと。

**答** 現在は79名の参加申込者があり、そのうち町内参加者が23名、町外からの参加者が56名です。（10月14日

**質** バスの乗り方講座が道の駅で開催されていたのがとてもよかった。バスの利用機会が少ないため、子どもの頃から教えることが大切だと考えている。今後も継続して実施すべきではないか。

**答** この講座は観光協会が企画したもの。同様の企画は今年の8月にこども園で実施しており、来年から小学校に入る園児を対象に実施しましたが、高齢者にも参加いただいた取組みを行いました。地域公共交通計画に位置付けられており、今後も継続して実施していきたいと考えております。

**質** バスの乗り方講座が道の駅で開催されていたのがとてもよかった。バスの利用機会が少ないため、子どもの頃から教えることが大切だと考えている。今後も継続して実施すべきではないか。

**答** 「あるこうかい」を始めるときは、昔の写真を見てもいいながら開催したこともありません。ふれあい学級でホテル溪谷のバスを借りて2時間程度テーマをもつて町をまわり、最後にホテル溪谷でお弁当を食べるバスツアーを開催することがありました。若者からの提案として教育委員会に伝えます。

**45歳以下限定**  
○日にち 10月14日（火）  
○場所 文化センター  
○参加者 3名

**答** 「あるこうかい」を始めるときは、昔の写真を見てもいいながら開催したこともありません。ふれあい学級でホテル溪谷のバスを借りて2時間程度テーマをもつて町をまわり、最後にホテル溪谷でお弁当を食べるバスツアーを開催することがありました。若者からの提案として教育委員会に伝えます。

現在の参加者数を報告しました。

**質** (町から) 先日の商工会青年部のポールスター札幌での物販事業はどうでしたか。当日の様子を共有していただきたい。

**答** 野菜や加工品を販売しており、認知度も上がりりピーターも増えてきている。また、パンフレットを持って「今度遊びに行く」という人も増えている。

**質** (町から) 商工会青年部として今後考えていることや取り組みたいことはありますか。特に他市町村との交流を深めるための取組みについて教えてください。

**答** 他町との交流を深め、イベント協力や相互支援を通じて客層を増やしwin・winの関係構築したいと考えている。

**質** (町から) 7月に芝ざくら滝上公園で実施した「フォレスト」イベントの反響について教えてください。

**答** フォレストには80名以上が参加し、スタッフも含めると100人以上が関わりました。多くの若者が参加し、普段見られない一面を

見られてよかったとのことです。また、参加者同士の繋がりが生まれた。

**質** 最近スポーツチームとの包括連携協定を結んでいるが、選手が本町へ来る機会はあるのか。

**答** シーズン中は難しいですが、オフシーズンには選手や指導者が本町を訪れる予定です。特にバレーボールのアルテミス北海道やイエロースターズからは訪問希望があり、選手の練習用ユニフォームには本町の名前が入るなどPRにもつながっています。

**質** 先日、新聞で見たのだが、北見市の専門学校、栗原学園との連携について、詳細を知りたい。

**答** 本町は自治体として初めて栗原学園と包括連携協定を締結しました。町職員不足の解消に向け将来的な人材確保を目的に、学生に本町を知ってもらう取組みが進行中です。インターンシップの受入れや今後はローンの資格取得支援など様々な分野で協力していきます。

**質** 小中一貫教育について、

誤解が生じている点をどのように伝えるのか。

**答** 小中一貫教育は一つの学校に統合するわけではなく、現在の小学校と中学校の場所を活用して9年間を繋げたカリキュラムを実施する取組みです。誤解が生じている部分については、正確に伝えるよう努めます。

**質** 部活動の地域移行の状況について知りたい。

**答** 紋別市が来年から部活動の地域移行を予定しており、その動向を見て本町も対応を決める予定です。文科省は、部活動は教育の分野ではないと示していることから、地域での受入体制構築が課題となっております。

(担当課より) 現在、国では令和8年度から10年度の前期実行期間において、休日の部活動の地域展開を目指すこととし、令和11年度から13年度の後期実行期間で原則すべての学校での休日の部活動の地域展開と平日の部活動も実情に応じて段階的に地域展開する方針を示しています。紋別市ではすでに令和8年度から

すべての部活動を廃止して「紋別市地域クラブ」を設立することになりましたが、西紋4町村においては、様々な課題があり、体制構築が困難な状況にあります。

本町においても独自の地域クラブ設立は困難な状況にあるため、まずは主に中学校にある3つの部活動(卓球、野球、吹奏楽)における今後の方針をまとめることを焦点にして検討を進めていきたいと思っておりますが、いずれにしましても、本町で設置している「部活動の地域移行に関する検討会議」の中で、今後も継続且つ段階的に協議を進めていくこととなりますので、方針が決まった際には、その都度、関係者各位に周知させていただきます。

**質** 本町のスポーツの盛況さをもっとアピールするべきではないか。

**答** 地域包括連携を締結しているスポーツチームとの連携を通じてスポーツイベントを開催し、町の魅力を伝えていきます。

### 子育て世帯

○日にち 10月15日(水)

○場所 ともも園

○参加者 8名

**質** ずっと本町に住んでいるからこそ、子育て情報や健康情報をまわりに知られたくない気持ちがある。情報提供の方法について、どうしたらよいか。

**答** 本年度から子育て情報や健康情報を発信する子育てガイドブックを作成し、発信力を強化しています。顔が見えない方法での配慮も検討する必要があります。個人情報扱おうデリケートな問題に対しては、慎重に進めていきます。

**質** 小中一貫教育になるとどうなるのか、具体的な変更点や影響について知りたい。

**答** 小中一貫教育は9年間を通じて継続的なカリキュラムを実施するものです。建物は別々ですが、教育内容を連携し、算数や数学などの学習内容が連続的に進められます。教員も小学校と中学校で交流し、より深い学びを提供します。

**質** こども園から小学校に進級する際につまづく子はいらぬのか。

**答** こども園から小学校へ進級する際の問題点は特に報告されていないと認識しています。こども園の先生と小学校の先生の情報が密になるような取組みをしていますが、統一した教育カリキュラムを作ることができないでいます。

**質** そのため、制度的にカリキュラムを繋げるために小中一貫教育の取組みを進めています。

**質** 小中一貫教育になると学芸会、運動会は1日にまとめて行うのか。

**答** 小中一貫教育の導入により、学芸会や運動会のようないくつかの行事を1日で実施する可能性もあるかもしれませんが、詳細なプランについては現在協議中です。

**質** 地元産業である林業、農業について、子どもたちが地元産業について勉強する機会があるのだが、内容が難しく理解ができていないと感じる。そのため、勉強というよりも仕事の紹介程度にとどめておくべきではないのか。

**質** 地元産業の学習機会を意図的に増やす取組みを進めています。木工体験や牧場見学、森でのスノーハイキングなどを通じて子どもたちに直接的な体験を提供しています。また、本年度から小学校前に畑を作り、子どもたちと農作物の生育を見守るといったことを始めており、教育の中に根付かせていく方針で進めています。難しい部分については都度改めます。

**質** (担当課より)「地元学」として地元産業(林業や農業)の学習機会を進めており、これまでに樹齢碑見学や牧場見学、よつば乳業見学、バターづくり、森林フィードワークなどを実施していますが、参加対象は全町民としており、単なる体験だけではなく、学習的要素も取り入れていることから、小さなお子様には難しい内容のものがあると思います。今後の事業を企画するうえでの参考とさせていただきます。

**質** 山村留学ができる等の周知をしては。

**質** 過去に山村留学について検討したことはあるが、現時点では具体的な導入については考えていません。

**質** 越知町に行くことで得られる学びはどのようなものか。

**答** 越知町へ行くメリットとして、一つ目は地理的に全く違う地域を知る学びになるということ。二つ目は、越知町はアクティブラーニング(子どもの自主性・対話・深い学び)を積極的に実施しており、そのようなところを肌で感じ取ってもらうことを促進しています。先生方にも児童にもよい影響が出ていると聞いています。

**質** HPVワクチン(男児)など任意接種のワクチンの補助を検討してほしい。

**答** HPVワクチンに関しては他の自治体でも補助が行われているところがあり、町としても検討する余地があることを認識しています。具体的な対応については担当部署と相談します。

**質** カマキリ公園の遊具の修繕状況について知りたい。

**答** 危険な箇所は修繕しておりますが、大規模改修には多額の費用がかかります。木製遊具の国の安全基準がどんどん上がり管理が難しくなっています。そのため、現在は職員の中で遊具の点検をできる資格を持たせるよう人材を育てております。

**質** カマキリ公園に屋根はつかないのか。暑さ対策についてはどうしているのか。

**答** 現在、カマキリ公園に屋根をつける予定はありません。暑さ対策については、今後の課題として認識しており、公共施設にクーラーを設置する方針が進められています。

**質** プレミアム商品券は購入ではなく配付したほうがよいのではないかと。

**答** プレミアム商品券は購入していただくことで、地域経済にもよい効果があると考えます。

**質** 屋内の遊び場を設ける予定はあるか。

**答** 屋内の遊び場の必要性は理解しており、今後検討していきたいと考えております。現時点では既存施設の活用を視野に入れていきます。

**質** 交流プラザは今後どのような方向性で活用していくのか。

**答** 現在、具体的な方向性は決まっていますが、今後の協議により決定する予定です。

**質** スーパーは今後どのような予定なのか。

**答** 現在、公設民営のスーパーについては、運営者を募集している段階です。(担当課より)審査会を行い、その結果をもとに次期出店者を選定しました。その出店者により新法人を立ち上げ、来年の3月のオープンを目指しております。



## 濁川・新町

○日にち 10月15日(水)

○場所 基幹集落センター  
○参加者 4名

**質** パークゴルフ場に関して、アンケート結果を踏まえた後の進展がどうなったのか、今後どのように方針を決める予定か。

**答** 来年度に向けて調査を進めながらじっくり方針を決める予定であり、方向性の決定についても本年度いっぴいかかる見込みです。(担当課より) 令和8年度末まで両施設の利用状況などを丁寧に検証したうえで、方向性を定めていきます。

**質** 濁川のパークゴルフ場のコースは芝が悪く、状態があまりよくない。こちらを残すとなったら、かなり整備しなくてはならない。

**答** 具体的な改善策については、調査の後に決定する予定です。

**質** パークゴルフ人口が減少傾向にあり、この状況にどう対応していくのか。

**答** 2つのパークゴルフ場を1か所にするというのは

やむなしというところですが、どちらがこの先有効かということになると、関係者の話や過去の経緯なども踏まえて、しっかり議論することが必要です。進捗状況についてはお知らせしながらやっていくということも考えていきます。

**質** 道路の凸凹は改善されたが、花壇の整備や雑草の管理についてどう対応しているのか。国道273号線の歩道と縁石の雑草がひどく伸びており、観光地としての見栄えがよくない。

**答** 縁石の雑草については、必要な地域を優先して対応しており、北海道や開発局に対しても要請を行っております。予算の制約はありますが、交差点など重要な箇所には対応してもらっています。ヒグマのゾーニング計画にも関連してしっかり要望してまいります。(担当課より) 町内会花壇は町内会が管理しています。道の駅広場花壇は、童話村たきのうえ花彩人事業実行委員会(事務局 商工観光係)が管理しています。

**質** 町有地の草刈りが年2回

予定だが、今年はまだ1回しか実施されていない。今後の予定について確認したい。

**答** 確認します。(担当課より) 10月21日に2回目の草刈りを完了しました。

**質** 昨年も同じ質問をしているが、今後も避難所として旧濁川小学校の体育館を使用するののか。

**答** 今後も引き続き避難所として使用する予定だが、濁川小学校は普通財産となり管財係が管理しています。旧濁川小学校を引き続き避難所として使うなら、使用しないと水道管も錆びるだろうし、廃校を避難所として使用するのは無理があるのではないかと、一般の宿泊所として考える必要はない。実際に災害が起きた場合、むしろ基幹集落センターを避難所とし、ここで対応できる方法を検討した方がよいのではないかと。

**質** 廃校が本当に使えるかどうか、ちゃんと整理する必要がありますか。

**答** たまたま大きな災害が起きていないが、避難所の整備というのは

は今後の課題として進める必要があると認識してまいります。

(担当課より) ライフラインが整備されていない施設を避難所として指定することは適切でないため、基幹集落センターへの集約も含めて、収容人数の再把握を行います。

**質** 童話村構想の進捗状況について詳しく知りたい。

**答** 町民も町職員も童話村構想がわからない人がいます。イベントや事業、取組みについて本町に住む人がやりがいをもって主体的にいろいろなことができる町になり、それを町が応援するという仕組みがまず一点。そして景観的な部分、色彩統一など目に見える部分で整えていくことが一点。10年後まで続く構想として位置付け、もう一度しっかりと町民にも町職員にも認識してもらおうというもので、滝まち会議や企画会議など推進しているところです。

**質** 童話村構想と童話村を育てる会は連携しているのか。神社下や国道沿いに花を植えているのは童話村を育て

る会だと思っていた。例えば、冬にイルミネーションをきれいにしている家があるが、それを童話村構想の一部に入れて町から補助を出してはどうか。

**答** 童話村を育てる会は、童話村構想に住民側からアプローチする活動を行う団体で、町から補助金を支給しています。検討の最初に設立当初の状況などを伺うためのインタビュウを行い、滝まち会議にも出席していただき、意見を出してもらっています。イルミネーションについてはご意見として伺っておきます。

**質** 近年、国道の舗装修繕が早くなったと感じている。大変ありがたい。穴ぼこの上をトレーラーが走るととてもうるさいが、修繕されたので国道を走る車の音が静かになった。

**答** 国道の舗装修繕は網走開発建設部により必要な整備を進めています。

## 三区・滝西・四区

○日にち 10月16日(木)

○場所 滝西会館  
○参加者 6名

**質** 診療所が2か月遅れで完成した。当初予算から最終経費、そして町内業者に落ちたお金、町の負担額を知りたい。交付税は別枠でくのか、7割の国の負担は確定しているのかも確認したい。

**答** 継続中の事業であるので、はつきりした額はまだ申せませんが、当初の見込み額は15億円でしたが、外構工事、古い病院の解体費を含めて26億円で、概算で国の補助金は3億3千万円、21億7千万円は過疎債で賄い、その7割が交付税措置されます。したがって町の実質負担額は6億5千万円と7億円となる見込みです。通常の交付税に上乗せして交付されます。変動するのは利息の部分で国債金利により多少影響を受けます。JV（共同企業体）を組み、町内の業者が関わっています。町としてはあくまで共同企業体への事業発注となりますので、収入割合などについて把握するものではありません。各企業の収入額はわかりません。

**質** スーパーナカガワの後継者について、今の段階でどうなっているのか。以前、希望者がいたと聞いたが、その後の状況を知りたい。

**答** 当初は商工会を通じて募集を行い、希望者が現れたが、事業承継困難となり、辞退されました。現在は町内のみなさん全員に対して再募集をかけており、応募期間が10月17日の17時まではです。応募がない場合は町外業者への拡大募集も検討しています。

**質** 昨年のプレミアム商品券販売で高齢者が長時間並ぶ状況があり、100歳越えの人も来ていた。しかし、商工会に聞くとそんなことはないと言う。100歳の方がそこまで行かなくてもいい方法はないのか。往復はがきの申込みなど違う方法はないのか。

**答** 対応に配慮が足りなかった部分はあるかと存じますが、混雑の状況を踏まえ、商工会と連携し、販売方法の改善に努めますが、様々な事情があることをご承知おきください。

**質** 人口減少率が一番高く、

ふるさと納税の額は一番低い。廃校、交流プラザなど建物が放置され、廃墟化が不安である。解体予算は見ているのか。ふるさと納税を環境整備に費消する方法はないのか。なんとか返礼品を工夫してふるさと納税の寄付額を増やし、移住促進に本気で取り組んでほしい。先送りして廃墟化するというのが一番怖い。

**答** 活用できない建物は解体する方針ですが、具体的な時期や計画は未定、地域との協議を続けます。エア・ウオーターの補助を受け、旧白鳥小は活用の可能性を調査中です。今後はみなさんおっしゃるよう活用する、壊すという考え方を財政計画などで検討し、今後考え方を整理する必要があります。過去に旧滝下小の解体について国の補助金を活用する申請をしましたが、採択されなかった経緯もありました。旧濁川小は活用を検討しています。

**質** 小中一貫化は令和9年度から始まるのか。学校はどこになるのか。

**答** 施設分離型で9年間の

カリキュラムを繋げます。補助事業を使って滝上小学校のトイレを修繕しているので、今後も8年間ほど校舎を使い続けます。令和16年度頃、本当に義務教育学校がいいのか結論が出ると思っているので、教育効果を検証しながら子どもたちに最適な形を慎重に検討します。

**質** 雑用水施設について、どのような計画か。

**答** 北海道の事業なので詳細はわかりません。本年度基本設計、来年度実施設計、再来年度から工事が始まる予定となっております。（担当課より）本年度実施している基本設計に基づき内容については決定します。

**質** 浄化槽の検査料や汲み取り料が高く、年間で9万3千円もかかっている。補助はないか。民間業者に頼んでいるが、機械がないため紋別市から来ているので高額になると言う。

**答** 料金設定は民間業者との契約によるものなので、町としては何とも言えませんが、ご意見として伺わせていただきます。

**質** 地域おこし協力隊の募集方法や予算はどうなっているのか。国費が町費なのか。こちらが必要とする分野で地域おこし協力隊を募集してほしいという意見は反映してもらえないのか。

**答** 地域おこし協力隊の費用は100%国が負担しており、町の負担はほぼありません。現在はインターシップ制度を活用し、滝上町の仕事を知らせてもらう取組みを進めています。基本的には必要となる場所に必要人材を入れる方法をとっています。

**質** 滝西郵便局のポストが撤去され不便になった。設置の見直しを知りたい。

**答** 遠軽郵便局と設置場所を協議中ですが、担当に現状を確認し、対応します。（担当課より）遠軽郵便局と協議中です。現在、ポスト移転先の町有地に対する「町有地借地願」の申請待ちとなっております。

**質** 農家の後継者が就農したという場合、奨学金返済を支援する制度はないのか。地元でUターンしてきた若者の奨学金を半額補助する

【答】 ような制度があればよい。  
以前、家の農業を継ぐためにUターンする場合に補助はないかという意見があったが、現状、停滞している。奨学金を貸すという仕組みはあるが補助はない。Uターン、Iターン就農者への支援策は今後の検討課題として受け止めます。

【質】 役場の職員数は足りているのか。中堅層が少なく職員としてのスキルが伝授できていない現状があるのではないのか。  
【答】 職員の採用活動を強化しており、大学訪問などによる人材確保を進めていきます。現在、人事評価制度を取り入れ、人材育成計画の年度内の策定を目指しています。

【質】 (担当課より) 年度内に作成する人材育成計画に基づく研修や人事評価を通じ、職員の能力向上に務めます。また、職員の異動に伴う引継ぎ等も漏れがないよう進めていきます。  
【質】 国勢調査や農林業センサスも職員がやっているが、負担が大きいのではないのか。  
【答】 他の市町村も市町村職員が担当する場合が多いです。

【質】 (担当課より) 本町では一般公募での調査員の確保が難しく、農林業センサスなどの一部の調査を除いて調査員は町職員が担当しております。町職員が調査員になることで、訪問時に住民から安心して調査にに応じていただけることや、個人情報管理の実施しやすいこともあり、引き続き、町職員の理解を得て対応してまいりたいと考えております。

【質】 防災計画が出来上がったが、防災意識を高め、実際の災害を想定した訓練を行うべきではないか。北海道や本町がやっているのは、防災教室である。  
【答】 コロナ後、防災訓練を再開し、本年は札久留公民館で防災訓練を行い、最近では自衛隊との連携を深め、線状降水帯発生を想定した新たな災害にも備えています。少しずつ想定しながら、やらなければいけないことはやるという方向で進めていきます。

【質】 (担当課より) 様々な自然災害を想定し、町内会の協力も得ながら、要望に沿った継続的な防災訓練・イベントを実施していきます。

【質】 森林環境贈与税を活用した10の事業の詳細は何か。温根湯温泉に向かう道の側溝には一本も木がない。大正の側溝は木が繁茂し、大変なことになっている。一度、建設課と一緒に除伐したが、あれから10年以上経ち、また生えてきた木をなんとかしたい。

【質】 主に民有林に対する補助事業が大きな部分を占めています。間伐、除伐、林道補修、苗木に対する補助などが含まれ、また木質資源の地産地消促進やバイオマス資源活用事業、林地残材の回収費の補助などです。道道はヒグマのゾーニング計画に関連して、町中から優先的にヒグマ対策として草刈りや木を切ってくれているので、その延長で対応してもらえよう、根気強く要望活動を継続していきます。町道については予算が限られていますが、少しずつ進めていきます。

【質】 スーパーナカガワについて、新たに新店してくれるところはありますか。  
【答】 出店の意向調査をしたところ、出店を希望する方が2名現れたので、現在、経営計画書を提出してもらい、どちらにお任せするか検討している段階です。

### 滝下・雄鎮内

○日にち 10月21日(火)

○場所 滝下農業研修センター

○参加者 7名

【質】 スーパーナカガワについて、新たに新店してくれるところはありますか。  
【答】 出店の意向調査をしたところ、出店を希望する方が2名現れたので、現在、経営計画書を提出してもらい、どちらにお任せするか検討している段階です。

【質】 スーパーナカガワの事業承継断念の件については、町も商工会も拙速だったのではないのか。結果、飲食店が一店なくなってしまう。町内で無理してやるぐらいだったら、町外に任せてもいいのではないのか。  
【答】 商工会と協力しながら慎重に進めていく方針です。ご提案については、お伺いいたします。

【質】 診療所が当初15億円予算でスタートして、最終的にいくらかかったのか。この人口規模の町にあの規模の診療所が必要だったのか。議論が足りなかったのではないかと感じている。  
【答】 診療所の建設費用は当初の15億円の予算から資材の高騰などがあり、本体工事に20億円、外構・旧診療所の解体撤去費用も含めて最終的に26億円で収まる予定です。

【質】 院長住宅について、町民にわかりやすい情報提供をしてほしい。特に派遣医服用住宅について町民に誤解を与えないように説明してほしい。  
【答】 院長住宅は現在、札幌医科大学の先生と医療財団から派遣された医師が別々に利用しています。派遣医服用住宅として情報公開し、町民に誤解を与えないようにします。

【質】 (担当課より) 現在医師住宅は3軒あり、1軒を所長住宅、2軒を派遣医師住宅として活用しています。  
【質】 敬老会のお知らせが回覧のみになると見た。回覧を見て該当する人は来いということなのか。そのような意味であれば、俺は行けないと思う。往復はがきをやめ、出欠確認を取らなくなった。町長は敬老会で永く町のために頑張ってくれた人を敬う会だと言っていた

【質】 敬老会のお知らせが回覧のみになると見た。回覧を見て該当する人は来いということなのか。そのような意味であれば、俺は行けないと思う。往復はがきをやめ、出欠確認を取らなくなった。町長は敬老会で永く町のために頑張ってくれた人を敬う会だと言っていた

【質】 敬老会のお知らせが回覧のみになると見た。回覧を見て該当する人は来いということなのか。そのような意味であれば、俺は行けないと思う。往復はがきをやめ、出欠確認を取らなくなった。町長は敬老会で永く町のために頑張ってくれた人を敬う会だと言っていた

【質】 敬老会のお知らせが回覧のみになると見た。回覧を見て該当する人は来いということなのか。そのような意味であれば、俺は行けないと思う。往復はがきをやめ、出欠確認を取らなくなった。町長は敬老会で永く町のために頑張ってくれた人を敬う会だと言っていた

【質】 敬老会のお知らせが回覧のみになると見た。回覧を見て該当する人は来いということなのか。そのような意味であれば、俺は行けないと思う。往復はがきをやめ、出欠確認を取らなくなった。町長は敬老会で永く町のために頑張ってくれた人を敬う会だと言っていた

が、意味合いがちょっと違うのではないかと。

**答** ご意見を伺って本年の結果を検証し、来年に向けて改善を検討します。

**質** 休校になった学校の歴史ある資料の保管方法をどう考えているのか。整理し、適切に保管してほしい。

**答** 郷土館で保管しているもの、教育委員会で保管するものがあるが、それ以外の資料については建物があるところは廃校後、それぞれの学校で保管されています。ご意見として伺っております。

**質** 本町の農業委員会の仕事が変わっていないのではないかと。更新手続きなどの遅れなどもあるようだ。

**答** 農業委員会の業務が一部滞っていることについては、業務進行状況を調べ、改善策を検討します。みなさんにご迷惑をおかけしないよう進めていきます。

(担当課より) 関係法令の改正により4月から農地の売買・賃貸借の仕組みが変わり事務の不慣れから更新の案内が遅れご迷惑をおかけしましたが、現在は更新手

続きを順次進めております。札久留公民館は安く使えるのがありますが、トイレやシャワーなどが問題ではないかと。60人が宿泊し、トイレはアンモニア臭がすごかった。お風呂もホテル

**答** 現在、トランポリンの練習場として利用があり、シャワー施設がほしいという意見は出ています。方針として確定したわけではないが、そういうご意見があるとして伺っております。トイレは浄化槽のサイズが15、6人用で60人という

人数には対応していません(担当課より) 現在のところ設備の改修は考えておりませんが、今後の施設運営の参考とさせていただきます。まずは、既存施設にある設備などをご利用いただければ幸いです。みなさまのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

**質** 芝さくら滝上公園の階段整備に1億円かかるというが、このご時世だから、最終的にいくらになるのか

からない。過疎債を使えば、町の持ち出しは少ないと聞けるが、仮に100万円でも200万円でも出すなら後々の有効活用について考えてほしい。



観光客の動線、案内は観光協会と協議して検討している最中です。今後、観光客、市民の健康増進などの利用を見込んでいます。

**答** (担当課より) 関係各所に働きかけを行い、利用してもらえるようPRしてまいります。

**質** コンサルに外部委託している事業について、計画を立てただけで何も進んでいないのでは。他の町が作った計画の町名を変えただけのような計画を外部委託す

るのはおかしいのではないかと。法定義務で作る計画と努力義務で作る計画があります。職員ががんばってやれば作れるというご意見があるのは理解しますが、過去に外部委託せずに、15、30回程度部会を開いて計画を策定するのは職員に対する負荷が非常に高かった。専門的な知見が必要な計画もあるので、内容を精査して行います。

**質** 郷土館について、何年も前に機能移転を検討すると聞いており、間もなく期限に達するが、今後どうするのか。あの施設に入っているものは貴重なものもある。学芸員の採用や冬期間も予約制で開館するなどの対応について検討してほしい。

**答** 診療所を建て終えて、財政がある程度健全化したのち、郷土館だけではなくその他ハード事業も計画的に行います。冬期開館については、予約制での対応を検討します。

(担当課より) 平成29年に策定された「滝上町公共施設等総合管理計画」で郷土館

は他施設への機能移転について検討することになっており、実際に道の駅や交流プラザなどへの機能移転の可能性について検討した経過がありますが、いずれも施設整備面や管理面などの課題が多く、一時検討を中断している状況にあります。引き続き、調査・研究を行ってまいります。

郷土館の冬期開館については、水道や電気、暖房を停止していることや郷土館前の除雪も行っていないため、現段階では対応は考えておりませんが、今後の施設運営の参考にさせていただきます。

**質** 童話村構想について、町民に十分に浸透していないと感じる。具体的な活動として町民に理解させる方法を考えてほしい。

**答** 現在、取り組んでいる最中です。計画を深化させ、具体的な内容を示して町民に伝えます。

**質** マイナンバーカードは一生使えるカードなのか確認したい。マイナ免許証には期限が載っていない。更新時期についての認識を町民

に広めてほしい。

**答** マイナンバーカードは10年に一度更新が必要なカードで、マイナ保険証、マイナ免許証が入ると期限が変わります。スマートフォンにかざすと期限情報が出てくるアプリケーションがあるので、活用していただきたい。みなさんのお話を伺いながら、実態を把握して情報提供、周知をしていきます。

**答** (担当課より)有効期限は18歳以上が発行から10回目の誕生日まで、18歳未満は発行から5回目の誕生日までとなります。外国人は在留資格や在留期間によって異なります。マイナ保険証、マイナ免許証の期限は、マイナポータルから確認できます。

**質** 雑用水施設と畑地灌漑整備事業は同じ事業か。

**答** 違う事業です。

**質** 役場の雰囲気が変わった。行きやすい雰囲気になったと感じているが、もっとわかりやすい窓口対応をしてほしい。

**答** 職員ひとりひとりが自覚して頑張っており、あり

がたいお言葉として受け止めます。今後も職員が町民に寄り添い、改善に取り組んでいきます。

**質** 役場に行き慣れている人はどこに行けばわかるが、そうではない人はどこに行けばいいかわからない人もいるのではないか。育児ガイドブックはともいい冊子だが、どこでもらえるのがわからなかった。

**答** 子育て情報はすべての人に必要な情報ではなく、冊子も全戸配布すると経費もかかるので、こども園で配布し、保健福祉課の窓口と文化センターなどの施設で配布をしています。(全戸配布ではなくても、回覧板で1冊挟んで、ほしい人はどこに行けばもらえるというのがわかればよい。)

**質** (担当課より)町広報12月号で配布先をご案内しました。

**質** 75歳になっても働ける間は働く、働きやすい環境があるといい。童話村という意味合いでも、年寄りを大事にするということ、「元気に老いていける」というまちづくりが繋がってほしい。

**答** 75歳まで本町に寄与されてきた方に感謝するのはもちろんだが、高齢のみさんの活躍の場を作るのは、みなさんの意見を伺いながら検討していきたい。

**質** ずんだクラブの活動をいつまでやるのか、という人が出てきた。今、じゃがいもを作る人がいなくなってきた。本町の気候的にじゃがいもは合うのではないかと思う。40代ぐらいの人でじゃがいもを作りたいという人はいないか。新たに農業に取組む人を集める方法を模索してほしい。

**答** わかりました。農業振興を進めるために、今後の振興策を考えていきます。

**栄町**

○日にち 10月27日(月)

○場所 文化センター

○参加者 12名

**質** お店が閉まったことによるハイヤー券配布について、どこへ行くためのものか。とうみ商店やセイコーマートに行くためであれば、近くに住んでいる人には不要だと思われる。旭川市など

町外への利用を想定しているのか。

**答** 生鮮食品や日用品といった買い物困窮者対策が目的です。今回のハイヤー券については町内の商店に行くことを想定しています。(担当課より)プレミアムハイヤー券は生鮮食品や日用品の買い物に不便を感じる方を支援するための目的で、3月末までの販売となっております。

**質** 子どもの部活動について、学校の先生の負担軽減から始まっていると思うが、これだけ子どもの数が少なくなってきたというなかでどう部活動をするといいかと想定しているのか。

**答** 具体的な種目はまだ決まっていますが、バトミントン、トランプ、スキーは少年団活動ができています。団体スポーツは町内では難しく、紋別市など近隣市町村と連携が必要になります。町としてはまだ判断はしていませんが、令和10年までに方向性を出す必要があります。

**質** 少年野球は西興部村との合同練習で送迎が保護者の負担になっていると聞く。スクールバスの利用など町の支援は考えられないか。

**答** 現状、大会への参加にはスクールバスを出していませんが、練習のための移動は個人負担でお願いしています。紋別市のサッカークラブに参加している生徒は公共交通機関を利用できる時間帯は利用して、それ以外は親御さんが送迎していると思います。文科省は地域移行を進めています。経費の負担については、北見市は個人負担、紋別市は送迎支援など、地域によって差があり、どこまで町が費用を出すかは議論があります。いろいろな考えがあるなかで、これから検討会とを考えています。

**質** 子どもたちに運動をさせるためにはお金がかかる。吹奏楽だってお金がかかる。

**答** 部活動の地域移行のあり方については検討中です。これまでは個人に補助を出すわけではなく、体育協会各単位団体に対して補助を出すという考え方で進めてきました。バトミントン少

年団も協会内で会費を取っているのかもしれないが、ほとんどボランティアで運営されていると思います。

**質** 医師確保対策とあるが、お医者さんの新しい家が、必要なものとしてなのか。また、町全体のグラウンドデザインが見えず、対処療法的な事業が多い。全国の住宅の着工数は子どもの生まれる数とイコールになっているが、本町はそうはなっていないという事は、住宅事業がよくないということではないか。

**答** 医師住宅については出張医のための住宅対策です。グラウンドデザインについては、本来童話村構想がその役割を担うものですが、残念ながらこれまで具体的に示してこれませんでした。町の職員も含め童話村構想への理解が不足しているのが課題です。

**質** 町内会の班長をしているが、赤い羽根共同募金などの集金業務が非常に負担になっている。なぜ班長が集めなくてはならないのか。今の人口に合わせたやり方に変更するべきだ。

**答** 町内会長会議で社会福祉協議会から町内会長へ集金の協力依頼があり、それを受けて各町内会長が班長へお願いしているのが現状です。ご意見として、来年の5、6月に町内会長会議の場で社会福祉協議会や町内会連合会にしっかりと伝えていきます。今後の調整は町内会連合会で協議し、決定していくものです。

**質** 商工業の維持活性化支援事業は町外者でも活用できるものなのか。栄町はメイストリートがあり、買物をする場所なはずだが、高齢化が進み、これからお店がなくなることが想定できるなかで、町内の人だけに事業継承や担い手の話をしてもらうのではないのか。

**答** 現在は商工会の委託事業の範囲で行っており、基本的には町内に向けた発信にとどまっています。今後、町外に発信する必要がある

ても検討していきます。本町は団体スポーツが難しい中、陸上、バトミントン、トランポリンなど個人スポーツに誘導、推奨していくことはできないか。子どもの自主性はもちろん大切だが、子どもを対象にした体力測定や研修会などを開き、適性を見たり、働きかけが必要なのではないか。

**答** 過去にノエビアスポーツ財団の助成金を使い、50人、60人の子どもたちが体力測定を行い、どういった競技に向いているのか分析したことがあります。高額な事業でしたが、今の意見を聞いて何かできることがあれば共有していきます。

**質** 童話村構想の話は30年間聞いていますが、具体的に何かはつきりわからない。いつまでも構想の話をしていくだけの話をしているだけな気がしている。具体的な「絵」にしていけないとどう取り組めばいいのかわからない。

**答** おっしゃる通りだと思います。現在、具体的に「何をしてきたのか」「何を目指すのか」を整理し、はっきり

りと示せるように、童話村構想の深化を進めている最中です。

**質** 本町には常に不足感があり、それを我慢することが美徳とされているが、我慢するのではなく、「田舎だから楽しいんだよ」という生き方をしていくべきではないか。そのリーダーシップは役場が取るべきだが、その役場にエアコンが入っていないのはおかしい。快適な職場でバリバリ仕事をしてもらい、滝上の魅力をもっと発信してほしい。

**答** 人手不足の状況が我慢しているように見えているのかもしれない。エアコンは少しずつ整備を進めている状況です。公共施設はクーリングシェルターの役割も含め、今後の参考にしていきたいです。

**質** 町が暗い。熊が出るし、暗いと子どももお年寄りも散歩しづらい。バイオマス発電などを活用し、街灯を増やすなど、町のあり方を考えてほしい。

**答** ご意見としてお伺いします。栄町は歯抜けになった土

地の草がぼーぼーになっているが、地権者がいるために手が出せない。まち普請事業でブラシカッターの燃料費とジュース一本程度の支援を受け、住民で草刈りができないか。

**答** ご意見としてお伺いしました。

**質** 部活動の地域移行について、受け皿となる側はどういう準備や資格が必要なのか、知らないことが多い。自分も指導者の資格を取ったが、そうした情報を提示する必要があるのでどうか。

**答** 教育委員会社会教育係に検討会議があるので、必要な資格や要件などの提示がされるべきものと認識しています。中体連との関係などまだまだ整理・勉強が必要な部分があります。(担当課より) 基本的に現在の少年団活動に必要な資格があれば問題ありませんが、中体連との関連など整理すべきことを調査して、情報提供させていただきます。

**質** 町の公式SNSはあるものの、町長個人のSNSはよく見るが、町としての発信が少ないように思う。他

の自治体はT i k T o kも含めうまくやっている。無料でできるP R方法としてもっと有効に活用してはどうか。

**答** 町としてS N Sアカウントはありますが、発信頻度が少ない現状です。行政が出す情報のため「間違いがあつてはならない」と慎重になつている部分があります。しかし、発信しなければ意味がないので、ご意見として受け止め課題といたします。

(担当課より) ホームページへの情報掲載と合わせてS N Sの投稿を行い、事業の担当係から、よりダイレクトにS N Sへ情報発信を行えるよう環境を整備して継続的な情報発信に取り組んでまいります。

**質** 虹の橋が暗くて物騒なので明るくしてほしい。  
**答** ご意見として伺いました。

**質** 認知症と共に生きるとあるが、なる前の対策が重要。職場の窓口でも認知症が疑われる方が来られることがあるが、対応が難しい。独居高齢の方も多くプライ

バシーもあり、介入が難しい。

**答** 高齢者宅の緊急通報システムも利用が減つています。アップルウォッチなどのI T機器で見守る技術も進んでいますが、個人情報への壁があり、なかなか導入が進まないのが実情です。日頃からの地域の関わり方やサポーター養成などが重要になります。

**質** 神社のあたりや井上産業のところ鹿をよく見る。車を大破させた人もいる。鹿注意の看板を立ててはどうか。

**答** まず本町はどこでも鹿が出るという認識で気を付けていただきたい。ただ、重点的に出るところがある

のも事実ですので、S N Sなどを活用し啓発を強くしていきます。

**質** 住宅を新築した際、補助金をもっと手厚くできないか(例・2千万円の家なら1千万円を補助)。その分、長く住んでもらいたい、固定資産税で40年かけて回収するという考え方もできるはず。

**答** 現在「ずっと住まいるたきのうえ！」という補助事業があり、条件はありますが最大で800万円の補助が受けられる場合があります。近年住宅価格が高騰しております。補助金については常に見直すことを検討してまいります。

### 幸町

○日にち 10月28日(火)

○場所 スポーツセンター

○参加者 4名

**質** 中学校の部活動の地域移行について。先生方の負担軽減のため、日当を払うという考え方はあるのか。また、バスケットボール協会など単協に任せられるかたちに

なるのか。今後のP R方針は。

**答** 地域展開という言葉に変わってきており、国はまず土日の地域移行を目指しています。日当を払う考えはありません。紋別市以外の西紋の町村と協議を進めており、令和10年度までに方向性を決定する予定です。

**質** 熊対策について、現状では町職員のG Oサインが出てから警察の許可が出るまでに時間がかかり、それでは対応が遅くないのか。行政として迅速に動けるようにしてほしい。また、命がけで対応する猟友会への手当はどうなるのか。

**答** 実施するためのマニュアルを作成中です。統一的な考え方の下で対応するため、国や道の事例を参考にしながら、猟友会としっかり連携を図り、協議を進めています。緊急銃猟についても慎重に検討しています。マニュアルについては一旦内容を猟友会と共有しているところですが、

協議中で、早期の策定を目指しております。緊急銃猟に対する猟友会の出勤(手当など)に対しては今後の検討課題となっております。

**質** 懇話会で町長が検討すると回答した13項目ほどの事案について、実際に何項目検討したのか。検討した事案についてフィードバックしてもらいたい。

(注・巻末に検討事案の結果について掲載しております。)  
**答** 正確な項目数は把握していませんが、実際に検討した事案もあるものの、この場ではすぐに思い出せません。昨年のフィードバックできるよう工夫すると言った回答を真摯に受け止め、今後対応していきます。

**質** 他の地域懇話会で話された内容というものが町民にはわからない。上紋峠の通行止めの話聞いていたはずだが、11月に質問したのに12月に議会で答弁した回答が広報に載っているのはおかしい。懇話会の質問と回答の記録方法を改善してもらいたい。

**答** 質問と回答にタイムラグがあり、紛らわしい記載



なっているのは事実です。今後は注意書きを添えるなど対応結果がわかるように明記するなど改善します。

**質** 防災のハザードマップを作成する予定があると昨年回答があったが、まだできていない。ハザードマップがないのに社会福祉協議会が小学校で防災授業を実施するのは、どういう理由でやっているのか。

**答** 社会福祉協議会が高齢者や交通弱者の誘導・対応のための研修を行っています。社会福祉協議会が直接学校に連絡を取り授業の調整をしています。

(担当課より) 防災教室は令和4年度から町・社会福祉協議会の協同事業として赤い羽根共同募金を活用して実施し、町職員も参加しています。ハザードマップは制度改正時期を踏まえて改定します。

**質** スズメバチの被害が懸念される。墓じまいされていないお墓や隣の空き地に木が生い茂り、スズメバチが巣食っているものがある。スズメバチに刺された人も多い。中学校の通学路でも

あり、危ないので対応してほしい。

**答** 墓の所有者を確認し状況を確認します。空き家は取り壊す予定になっていますが、木の状況について確認します。

(担当課より) 原則として土地所有者に連絡し駆除を依頼しますが、被害予防のため緊急を要する場合は、町が駆除対応を行います。



**質** 墓じまいで親の納骨をした後、自分の分の予約は受け付けてくれるが、親の名前と自分の名前のプレートが離れてしまう。なんとかならないか。

**答** 現在は申し込まれた順番でプレートを掲示してい

く仕組みとしています。煩雑にならないよう順番に揭示しており、話し合っただけの経緯があります。考え方はそれぞれ異なりますが、ご意見として受け止めます。

**質** 童話村を育てる会でピンク色の芝ざくらカラーを作ろうと思っている。役場や商工会、観光協会にもPRに協力していただきたい。

**答** 「華麗なカラーが誕生した」をキャッチコピーにやっていきたい。

**質** ピンク色のカラーは観光振興にもなるので、どんどんやっていただきたい。(担当課より) 役場及び商工会、観光協会の関係機関でPRしていきます。

### 札久留

○日にち 10月29日(水)

○場所 札久留公民館

○参加者 7名

**質** 童話村構想について深化も大切だが、いろいろ変わっていく進化も必要では。

**答** 令和6・7年の2か年で深化を進めています。令和6年度は町民アンケートや

インタビュを行いました。令和7年度は滝まち会議やふるさとまつり、子ども祭りなどで幅広く町民の意見を集約しました。今後はこれまで行政のみで行っていたところを町民のみなさんと一緒に実現、展開をしていきたいと考えており、これを「進化」と捉えております。

**質** 知人が買い物で困っている。スーパーナカガワ後の進捗はどうなっているのか。

**答** 4月に閉店の意向を受け、商工会を通じて事業者希望1名と調整しましたが、破談となりました。その後、再度、町内で出店意向調査を行い、現在2名の希望がありました。操業計画書の提出を受け、商工会、議会の意見を伺いながら決定していく段階です。ご不便をおかけする間、プレミアムハイヤー券で対応しています。

**質** 最近の夏はとにかく暑い。各自自治体が施設をクーリングスポットとしている反面、本町はそうなっていないのではないか。町の職員のためにもなんとかしてあげて

**答** ご指摘のとおり、公共施設の整備が遅れている面があります。本年は郵便局の協力でクーリングシェルターを設置しました。公共施設については引き続き計画的にエアコンを設置していく予定です。役場庁舎は構造上の問題もありますが、会議室から順次整備するなど工夫して対応しています。小中学校は導入済みで、道の駅も本年設置し、観光協会によりクーリングスポットとして案内しています。

**質** 盤の沢の入口の木が生い茂って見通しが悪くなっている。

**答** ご指摘のとおりと認識しております。以前、側溝周辺の支障木の除去をした経緯はありますが、パトロールを行いながら、担当課と継続的に情報を共有し、対応してまいります。

**質** 光ファイバーの線が設置から20年近く経ち、木が伸びてきて支障が出てくるのではないかと思うが、その対応についてどう考えているのか。

**答** 現在のところ、木が原因

で具体的な支障報告は受けていません。光ファイバーの線はほくでんやNTTの線の下に設置されており、一体的に管理されています。ご指摘の箇所については現地確認などを行い、情報の認識に努めます。

(担当課より) 大規模な支障は生じておりませんが、ピンポイントに強風により木の枝とケーブルが干渉し、断線する場合があります。その際は断線箇所のケーブルの修繕と合わせて、支障木の枝払いを実施しており、環



**質** 境の維持に努めております。光ファイバーの不具合があった場合、その修繕は町がやるのか、NTTがやるのか。

**答** 光ファイバーの幹線の管理は町です。その不具合に関する修繕費用は町が負担します。但し、ご家庭への引き込み線の部分に関しては個人の負担となります。

**質** 通信速度を上げたいと思った場合、この地域は対応できないと言われた。その対応はどうしたらよいか。田舎ほどそういう対応をしっかりとしてくれるとありがたい。

**答** 現状のプランより速い光回線速度への変更が地域的に対応できないとのこと申し訳ありません。現在のところこれ以上の通信環境の整備計画はありません。北海道全体でデータセンター設置に伴うインフラ整備の動きがあるため、国動向などにも注視し情報収集に努めますが、当面はこの環境が続く見込みです。

**質** 教職員の盗撮事件を受け、スマートフォン教室持ち込みが禁止になり、学校通信作成のための写真撮影などに支障が出ていると聞いた。学校備品のカメラなどの整備状況はどうか。

**答** 重大な問題と受け止め、町内学校でも緊急点検を実施しました。現在は学校長の判断に基づき、教室への持ち込みは原則禁止としています。学校備品のiPadやカメラで撮影し、データを一元管理するように指導しています。修学旅行など状況に応じて学校長の許可のもと対応している場合もあります。

**質** オシラネツ川雄柏橋の下や道路沿いにゴミの不法投棄が多く、観光客の案内時にも困ることがある。ヒグマの誘因にもなり、危険。広報などで啓発してほしい。

**答** 河川管理者へ情報を共有します。橋の周辺や見通しの悪いカーブなどに多い傾向は認識しています。不法投棄はヒグマの誘因にも繋がる重大な問題ですので、啓発活動の強化を検討します。

**質** 暴風で河川に倒木した木を撤去できないか。流れて橋に引っかけると危険。

**答** 河川内の立木(倒木)については、河川管理者である道に対して継続的に要望

しています。今年は市街地の三条橋付近について、熊の出没に係る視界確保の観点からも伐採してもらいました。興部町や雄武町では流木による漁網被害が発生していることから地域が一体となって道に要望を行ってまいります。

**質** 地域おこし協力隊の活動はどうなっているのか。

**答** 現在2名の隊員が大変活躍してくれています。募集に対して十分な応募が集まらない状況もあるため、インターン制度を活用して、まずは町を知ってもらう取り組みを進めています。現在は情報発信、育苗といった分野で募集を行っています。

**質** まちなか活性化貸店舗について、当初想定した年月営業していない。役場の契約はどのようになっているのか。また、スーパーナカガワは休憩所を活用しきれいでないか。

**答** 「何年営業する」といった年数を定めた契約ではなく、公営住宅の貸出と同様、シンプルな賃貸契約(年契約の自動更新)となっています。今回は経営者の方の体

調の問題が理由と伺っております。休憩所が活用されていないかというご指摘については認識しています。(担当課より) 休憩所が活用されていないかという点については、今後改善してまいります。

**質** 「地元の買い物、郷土の発展」と言うように、もっと地元で買いたい物が必要ではないか。商工会などがキャンペーンを行うなど経営者を支える支援が必要ではないか。

**答** 地域の商店を支えるため、商工会や観光協会などと連携した支援策について検討の余地があると考えます。

**二区**  
○日にち 10月30日(木)  
○場所 二区ふれあいセンター  
○参加者 4名

**質** 昨年度の出生数が3名と聞きショックを受けた。今の子どもたちの数はどのくらいなのか。子どもが減ると地域が寂しくなる。一次産業の後継者はここで子育て

てしなくてはならないわけだが、学区を越えた交流などもしてもらいたい。

**答** 小学生が71名、こども園が44名。他の地域よりも先駆けてこども家庭センターを設置し、子育てや教育に関する制度を一元的に管理し、相談窓口を一本化することで子育てしやすいまちづくりを目指しています。

**質** 若い人が住み続けるために、みどちゃんもなくなつたし、渓谷ホテルはあるけれど、食事ができるところ、夜にみんなで集まれる場所がほしい。生鮮を扱うお店も早く決まってほしい。

**答** 商店の誘致については、現在2件の申し出があり、それぞれ事業計画書、経営方針や操業計画書を提出していただき検討しているところですが、今後、商工会や議会とも相談しながら決定していきます。

**質** スーパーナカガワについていろいろな噂話を聞くが、2件の応募があるなら早く決まってほしい。そろそろ忘年会シーズンも近づき、宴会や打ち上げの場所がなくて困っている。

**答** 商工会、議会の意見を伺いながら決定します。

**質** 診療所について、ちよつと熱が出た時に電話しないと診てもらえないと聞いたが、本当か。ある程度、診療所が頼れる場所になっていないとリハビリセンターや溪樹園の運営も困ることになる。

**答** 診察前に電話連絡をお願いすることがあるのは、高熱などの感染症の疑いがある場合に、別の入り口や待機場所へご案内するためです。電話がなかった場合に診察をお断りするようなことはありません。特にお子様の場合は、事前連絡をいただけると、看護師などの対応もスムーズになります。

**質** ヒグマのニュースが毎日のように出ているが、本町ではどのような対策をしているのか教えてほしい。

**答** 本年の4月1日からヒグマゾーニング計画を策定し、北海道及び各関係機関とも協力いただきながら、河川周りの木や神社の木々の伐採、草刈りを行い、見通しを確保しています。緊

急銃猟は、現在町でマニュアルを策定している最中です。酪農学園大学と連携してドローンでデントコーンの食害などの研究を進めています。なお、昨年も本年も人身被害は起きていません。

**質** 猟友会は何人いるの。  
**答** 20人ぐらいです。他の地域と比べると本町は比較的若い人が多いです。

**質** 子育て支援に関して、高校に進学している子どもたちの支援をもっと手厚くしてほしい。例えば、遠軽町は3万円を上限に下宿代の補助をしているが、本町は道の基準に合わせているため、とても少ない。もっとびっくりするような（突き抜けた）支援をするというのでははないか。

**答** ご意見として伺いします。

**質** 改選時期に地域懇話会がなくなるのはどうなのか。行政サービスは切れ目のないものだと思うので、逆に改選前だからこそやった方がよいのではないか。

**答** 懇話会でのご意見は新年度予算に反映させる側面があるため、慣例的に4年目の最終年度は控える傾向があります。



**質** 地域懇話会の開催場所が多すぎるのではないか。減らした方がいいのでは。隔年開催にするとか。

**答** 従来の8か所に加え、45歳以下と子育て世代の開催を増やしたため現在は10か所となっています。高齢者と一緒の場では若い世代が発言しづらい面もあるため、世代を分けた開催も試みています。

**質** 投票所も減らしたらいいのではないかと思っていたが、年配者はなくなると困

ると言う。移動投票所のよくな仕組みは検討できないか。

**答** 期日前投票を移動投票所で実施することは可能です。例えば、地区ごとに時間を区切って巡回するなどが考えられます。

**質** (担当課より) 巡回移動投票所は制度としては実施可能ですが、どのように実施するのがよいのか研究している段階です。

**質** ホテル渓谷について、宴会場などから煙草を吸うために席を立つと場が白けてしまう。利用者のニーズに合わせて喫煙所の設置(分煙)を検討してはどうか。

**答** 敷地内禁煙より喫煙所を設けているホテルは比較的评价が高いと聞いています。

**質** (担当課より) 令和2年4月から改正された健康増進法により、分煙は必要であるため、喫煙室を設けております。ご理解賜りますようお願い申し上げます。

**質** 尾村橋から旧白鳥小へ向かう橋の段差について、対応をお願いしたい。  
**答** 昨年からは話は伺ってお

り、年内にアスファルトを敷いて段差を解消する計画です。

(担当課より) 12月中旬に修繕を完了する予定です。

**質** 熊を見かけて通報したら、注意喚起の看板は立ててもらえるのか。

**答** 人がよく歩く場所や散歩する人が多い場所では安全啓発のために看板を設置しています。山の中などではあまり意味がありませんが、見かけた際は通報いただければと思います。

**質** 昔から熊はいたが、最近特に増えている印象がある。理由はなにか。

**答** 確かに増えています。昔は人がよく山に入っていたため熊が人間を避けていたましたが、今は人が山に行かなくなり、熊が人里に来やすくなっています。また、栄養状態が良くなったことで、以前は一頭しか産まなかったが、今は複数頭産むようになり、加速的に増えている側面もあります。(担当課より) ヒグマの目撃情報に関しては、ひぐまマップで確認する限り昨年の件数を越え、増えてきている

印象はあるが、一方で北海道立総合機構などの統計では、オホーツク圏の個体は減少しているという報告もあります。

**質** 選挙が農繁期、収穫期に重なることが多い気がする。投票しづらい。

**答** 貴重な意見として承ります。なお、平日は役場職員が選挙事務を担当しているため難しいという実情があります。

(担当課より) 町長・町議選、参議院選挙等は任期があるため時期の変更が難しいです。また、衆議院についても政治情勢に左右されるため、ご了承ください。

旭町・元町・滝美町・あけぼの町  
○日にち 10月31日(金)  
○場所 交流プラザ  
○参加者 11名

**質** 熊の予防で他の町では熊の着ぐるみを使った避難訓練を実施しているそうだが、熊撃退スプレーは急に使うとしても難しいのか。観光客のゴミ捨てマナーが熊を呼び寄せる原因になってい

るため、ホテル溪谷付近に出没するので、危機感をもった対応が必要だ。岩手県の教育委員会では熊の対応マニュアルを策定しているそう。

**答** 道のヒグマゾーンニング施設管理計画のモデル地区として認定され、北海道も一体となり、なかよし橋、三条橋付近の木の伐採や、例年より早く道路の草刈りなど視界確保の対策を進めています。小中学校については、道教委のマニュアルに基づき、今後登下校の対応をしていきます。観光客のマナー問題やゴミ捨てについては、観光施策を進めるうえで参考意見として検討します。ご提案のヒグマの訓練はこども園だけではなく他の分野でも必要なものだと認識しています。

**質** 交流プラザの親水公園はともきれいなったので、溪谷ウオークをするなどしてもっとPRしてほしい。

**答** 交流プラザの親水公園は町内のみなさんの協力でもきれいなったので、利用促進について検討していきます。

(担当課より) 町民の憩いの場として、安全性と快適性の確保しつつ、利用者ニーズや観光振興の視点も踏まえ関係団体に働きかけを行っていきます。

**質** 本年、高齢人口と生産年齢人口が逆転すると聞いたが、実際はどうなっているのか。

**答** 9月末現在、町の人口は2,171人、生産年齢人口は1,035人、0〜14歳は172人、65歳上の人口は96人で、高齢化比率は44.4%で高齢人口は減りながらも人口も減っている状態で、まだ逆転はしていません。今後も高齢化率は44%台をキープする見込みです。

**質** 町内にあるデザイン灯について、所有者は商工会と聞いたが、電気料や補修費は町内会で負担している。そうだった経緯、また現在何基あるのか聞きたい。

**答** 現時点では把握していません。調査した後ほど回答します。(担当課より) デザイン灯は全部で59基あります。もともと町内会が所有していた

防犯灯を新しくする際、商工会で使える補助金を活用したため、商工会の所有となっておりません。

**質** 横断歩道や停止線の白線が薄れている。少なくとも横断歩道はつきりわかるようにしてほしい。

**答** ご意見のとおりと認識しております。担当部署と共有し、対応を検討してまいります。

**質** ゴミステーションの分別板の破損・汚損について。忙しく対応しているゴミ収集員が交換するのは難しいのではないかと。分別板を役場の住民生活課の窓口に常備し、気づいた町内会が各自で取り付けるようにした方がよいのではないかと。

**答** ご提案として受け止め、体制について検討します。(担当課より) すでに分別板の破損・汚損があった場合は、各町内会長が対応してください。ご了承ください。

**質** 公園の園路階段の整備について、下に降りた後、自力で上がるのは困難な方がいる。下に降りた際、帰りのバスで入口まで帰らせてもらえないか。

**答** 園路階段の整備については、下に降りた後、自力で上がるのは困難な方がいる。下に降りた際、帰りのバスで入口まで帰らせてもらえないか。

**答** 同様の意見を他からいただいております。来年の運用に向けて、観光協会と情報共有し、対策していきます。

**質** 商工会の維持と活性化について。スーパーナカワが閉店し買物物ができなくなったが、現在の見通しはどのような状況になっているのか。

**答** 本年の4月に閉店の意向を受け、商工会員を対象に出店意向調査を行いました。一度は事業継承が進みかけましたが破談となり、9月に再度募集したところ、2件の出店希望がありました。現在操業計画書などの提出を依頼している段階であり、今後商工会や議会の意見も聞きながら決定していきます。

**質** 2件の出店希望は町内業者か。

**答** 出店希望調査は基本、町内の人を対象に行っております。

**質** 診療所の内覧会に参加したが、立派にできていたと感じた。工事費、事業費がしおりに載っていないから総事業費と起債や補助

金を除いた町の実質負担額はいくらぐらいになるのだろうか。

**答** 診療所のみ経費が26億円（基本設計、外構、取り壊し費用も含む）、CHPボイラー、太陽光発電設備にプラス6億7千万円、合計で32億円が工事費と見込んでいます。財源内訳は起債が22億円、一般財源が3億7千万円、その他が補助金となります。

**質** 患者には選択できる権利があるはずだが、所長のコメントを見ると、年寄りが多いため内科も外科もかかると患者は2人の医者に対応してもらおうことになるので、時間がかかるとの理由から総合診療になったと聞いた。医師が複数名いるなら内科と外科に分けた方がいいのではないか。

**答** 現在、常勤医が所長1名という体制です。医療財団から医師の派遣を受けていますが、どの専門科の先生が派遣されるかわからない状況にあります。今の所長は両方できる方なので、看護師の配置なども含めて総

合診療の方が取組みやすいという状況です。

**質** 在宅医療について、現在の所長はどう考えているのか。診療所の負担になるかもしれないが、町民は切実に求めているのではないかと。在宅医療システムについては所長も実施を希望しています。現在、地域包括支援センターなどと連携し地域包括ケアシステムの中で拡充できるよう、取組みを進めている最中です。

**質** 夜間診療を一部再開したとのことだが、具体的にはどの部分が再開したのか。

**答** 1月30日前は救急車の搬送はすべて紋別市へ行っていました。今はまず診療所で受入れ、状況に応じてすぐ帰れる方は帰宅、紋別市でも足りない場合は旭川市へすぐに搬送してもらえようとしています。

**質** 財政問題、夕張市や北見市が問題視されているが、本町はそこまで悪いとは言われていないが、診療所や雑用水工事などで予算規模の小さい町にとってかなりの負担になることが予想される。借入金70億円に対し、

基金残高は39億円、将来人口減少で交付金も減額になると思うが、本当に大丈夫なのか。その辺の見解を聞きたい。

**答** 現在の予算規模は診療所の会計を含めず53億6千万円となっており、物価・人件費の高騰、委託事業費も給料の上昇も含め上乗せされて事業費は増加傾向にあります。歳入は普通交付税が約25億円入ってきており、平成10年頃、将来的に20億円まで減っていくと推測しております。が、今は入ってきています。特別交付税も除雪経費なども含まれますが、1億5千万円入ります。地域の事情により入ってくるお金（譲与税、各種交付金）が約2億円、町税は約2億5千万円となっています。基金は毎年3〜5億円を取り崩す予算を組みますが、実際の支出は1億円に抑えています。今後は公共施設の電気代等の光熱費はLED、ソーラーパネル導入で経費を抑制しつつ、デジタル化やAI導入による業務効率化、公共施設の見直しを進

めます。ただ、大きな自治体とは違い、小さい規模だからこそちよつとした損失でも大きく影響が出る場合があるので、引き続き気を引き締めて業務にあたります。

**質** 旭川市や札幌市方面へ向かう国道沿いにトイレがなくて困っている。なんとか国道にトイレを設置してほしい。

**答** トイレの話は開発局に要望している最中です。チエーンの脱着場の冬季の状況など観光地としての景観も考慮しつつ、国や道に要望してまいります。

**質** 議会のあゆみを見ると、議員定数が平成19年から20年近く9名のまま変わっていない。現在の人口には多いと思うが、議員を減らすにはどうしたらよいのか。

**答** 昨年も同様の意見をいただいております。議員定数は条例で定められており、町だけで変更できるものはありません。このようなご意見があった旨は議会事務局へお伝えします。（担当課より）議員のみな

んにご意見があった旨、伝えます。

**質** 濁川方面から滝上市街に入る国道の入口が暗くてわかりづらい。道路面に矢印を一本入れるのか、看板を置くのかなんらかの表示対策をしてほしい。

**答** 多くの町民から同様の意見をいただいております。道路管理者にその旨を伝えております。引き続き対応を検討してまいります。

**質** 童話村構想を推進し、町民の意識を変えるために例えば庁舎の前にきれいな花を咲かせるなど構想を推奨している街だと感じられる取組みをしてほしい。

**答** ご提案いただいたお花の取組みも含め、構想推進のために何かが必要か、参考意見として伺い、検討しながら進めてまいります。

**質** 以前各分野を合わせた総合的な求人（の仕組み）を考えると、今どうなっているのか。

**答** 従来は農業・林業・建設など分野ごと個別に対応していましたが、役場の縦割り（を）を改め、一体的に取り組む方向で検討していると

るです。

（担当課より）現在は、各係で協力し、説明会等に参加しております。引き続き横の連携を意識し採用活動を続けていきます。

**質** 旧白鳥小の活用について、現在の状況はどうなっているのか。

**答** エア・ウォーターからいただいた企業版ふるさと納税を活用したふるさと英知プログラム（の）調査では、陸上養殖は明確に採算が取れないという結論になりました。年間町内で1,200〜1,700頭駆除しているエゾシカの活用可能性については、本年度末に調査結果をお示しできる予定です。

**質** 将来的に新しい診療所の病床を介護医療に使う予定はあるのか。

**答** 現時点では、介護医療院へ転換すると言う具体的なビジョンはありません。但し、診療所の19床は比較的広く設計しており、将来的に診療所以外の活用も選択肢として持てる造りになっています。

**質** スーパーナカガワについて

で、車がない人はどうしているのか。そう簡単に辛抱できるものではない。町民にとっては切実な問題。いつ頃まで待てばいいのか。



**答** プレミアムハイヤー券で、車がない方も買物に行けるよう対応しました。ぜひ、ご理解をいただきたい。

**令和6年度のご質問について**

**○未分別ゴミの回収及び農村地区の回収回数について。**

**答** 引き続きゴミの分別にご協力ください。また農村地区の回収回数はご理解を賜りますようお願い申し上げます。○高齢者のプレミアム商品券購入対応について。

**答** 車椅子で来られた方、高齢者の方へ優先的かつ安全に購入していただけるよう受入態勢を変更しました。

**○支援室の土日開放について。**  
**答** 日曜日はこども園が閉園していません。試験的に平日の午後、開放しましたが利用者がいなかったので、現行どおりとしております。

**○常勤医師募集の取組みについて。**  
**答** 確保に向けて大学病院を中心に各関係機関と協議している最中です。

**○高校生が卒業後もまちに残ってもらうような取組みをしてほしい。**

**答** 地元学などの「ふるさと教育」を通じて児童・生徒に本町の良さを伝えるような取組みを続けて参ります。

**○高齢者の生活を見守るデジタルシステム導入について。**

**答** カメラ式なのか、24時間動きがないと通報するシステムがいいのか機器の選定を行っており、令和8年度中の運用に向けて進めています。○芝ざくらまつりの看板が小さくて見づらい、英語表記がないことについて。  
**答** 新しく作る看板は英語も



人いきき町わくわく 童話村たきのうえ

併記するようにしています。本年は芝ざくら滝上公園の出入口にある交通の看板に日本語と英語を表記しました。○町の公式LINEの普及による紙の回覧の廃止、登録世帯について。  
**答** 商工会女性部で行っているスマホ教室と併せ、町民全員スマートフォンで情報が得られるよう、町としても土台作りを進めて参ります。○専門家による熊セミナーを本町でも実施してほしい。  
**答** 5月25日、酪農学園大学の佐藤教授をお招きし、ヒグマの生態の講演会を実施しました。○町内会で管理している防犯灯について、町の所有とし、管理する考えはないか。  
**答** 令和8年度以降の対応に向けて調査している段階です。